



C:ローマ数字で100を表す

◆巻頭言 ふるさと

瀬上さとやまもりの会の活動に参加させてもらっているが、これも山村で生まれ育ったゆえに、ほっとした気持ちが誘ってくれるからであろうか。故郷の思い出の閑話は感傷的である。

出生は豊川、天竜川の上流、峻険な山に囲まれた愛知県と長野県との県境の豊根村という小さな山村であり、峠を越えれば長野県であった。峠道からは雪を頂いた赤石山脈の連山が美しく見えた。夏は涼しいが、冬は山間部では1メートルを超す雪が積もり、寒さは厳しかった。

戦国時代には甲斐武田、三河徳川、尾張織田の戦場の先端となり特に武田家滅亡の際には兵士の落ち行く先となったかもしれない。小生の苗字である「上手」の分布をみると山梨、長野、愛知、岐阜飛騨、離れて広島という状況である。このほかにも京都、鹿児島、等々その他、人の移動とともに拡散していくとともに、もとは不明となる。

故郷は今や山間僻地であるといえども、豊橋(吉田)から長野へ抜ける金指街道、名古屋から飯田に抜ける飯田海道の通過点にあり、縄文期以降の出土品、鎌倉期以来とされる「花祭り」(国指定無形民俗文化財)と歴史の中で生きてきた村である。瀬上さとやまもりの会の活動も少しでも長く続けられたらと祈念する次第である。
(上手記)



次回の予定 ● 28年12月、29年1月活動予定

①日時: 12月11日(日) 9:30~14:30 定例作業

- 集合場所: 池の下広場倉庫前 •集合時間: 9:30
- 作業場所: 池の上広場右岸、中尾根側階伐地
- 作業目的: 目標植生に向けた適切な階伐更新後の保全作業。
- 作業内容: 池の上広場、右岸中尾根側斜面地の萌芽更新の管理作業
カラスザンショウの階伐、萌芽枝の整理
- 持ち物: 常備具(カマ・手ノコ・ナタ)、お弁当、飲料水、他必需品
【持参器具】作業旗、シート、救急箱、チェンソー、ロープ

②日時: 1月8日(日) 9:30~14:30 活動始めの安全祈念式と定例作業

- 集合場所: 池の下広場倉庫前 •集合時間: 9:30
- 作業場所: いっしんどう作業エリア
- 作業目的: 景観保全型落葉広葉樹林地への保全作業。
- 作業内容: ランドマーク大島桜付近の林床整理
スギの弱小木、罹患木、欠頂木の除伐作業
アオキ、シロダモ、ネザサの駆除作業

- ・持ち物: 常備具(カマ・手ノコ・ナタ)、お弁当、飲料水、他必需品
【持参器具】作業旗、シート、救急箱、チェンソー、ロープ

・記事 **自然体験教室のイベント内容を決める事**

③日時: 1月22日(日) 9:00~/13:00~ 受託業務『自然体験教室』の準備と新年会

- ・集合場所 **公田竹林西駐車場** ・集合時間 **9:00**
- ・作業内容: イベントに使用する竹材の用意、作品の見本品の作成
竹材の搬出(区役所の所定場所に保管)
- ・持ち物: 常備具(竹ノコ・手ノコ・ナタ)、飲料水、他必需品
【持参備品】 ダンボール箱、結束紐、

◇新年会 場所:「三間堂」大船店、時間: 13:00~15:00 詳細は編集後記の後に記載

④日時: 1月28日(土) 9:00~14:30 受託業務『自然体験教室』

- ・集合場所 **公田竹林西駐車場** ・集合時間 **9:00**

※ 詳細は1月22日までに連絡を致します。

(29年2月号の原稿に関し、上記活動報告は小嶋泰家氏、巻頭言は山上東平氏、リレポートークは渡邊忠幸氏です。原稿の締め切りは29年1月29日(日)、押木氏迄宜しくお願いします。) 欠席される方は、メール(TOKAMI6666@aol.com)又は電話(894-2800)で山上部会長迄。

【瀬上さとやまもりの会 活動日誌】

(1)平成28年11月13日(日) 晴れ 9:30-14:00 中尾根下北斜面(E5-2) ボラ塾生の伐採体験教室と散策路の整備等

- ・参加者: 浅見、伊藤、枝村、小宅、佐谷、上手、高嶋、星野、前村、三島、山上、渡邊富、渡部、中塚 計14名 ボラ塾生:6名
- ・作業内容 ボランティア塾の樹林地活動体験のために欠頂木や弱小のスギの間伐実習、散策路の階段やウォーターバーの設置



班分けして現場で説明

いよいよ木を倒す

伐採木の玉切り



散策道の補修

ウォーターバーを作る

作業後には日差しも

・活動内容 ●当部会としての間伐の意義や作業内容などを説明。ラジオ体操後、ボラ塾生を3班に分け、班毎に纏まり作業地に移動。伐採、玉切り、切出し等のやり方を説明し、実習・体験。

●1.5mの長さの伐採木を護岸用のために E5地点におろし、11時過ぎに休憩。

●昼食を挟み、13時過ぎまで伐採作業後、体験教室は終了し、打合せ。13時半過ぎ解散。

●打合せ事項 ○中野ケアプラザのボランティア活動団体登録の継続申請

○レンジャーズの参加活動は2月12日を予定

○15日臨時保全協議会に山上、中塚、佐野、梅田等が出席予定、報告はHP

○17日役員会や14日区役所との自然体験教室についての打合せへの出席者の決定

○新年会の日取り、当部会のホームページの更新について等

(2)平成 28年11月27日(日) 曇り 9:30~13:30 池の下広場奥、中尾根入口 E5地点の小川(沢)の法面補強

・参加者 伊藤、枝村、小宅、佐谷、上手、竹内、星野、三島、山上、渡邊富、渡部 計 11名

・活動内容 ●写真撮影、ラジオ体操後、本日の作業説明を受け現場に移動。

●杭・土嚢作りと護岸作業に分かれて作業開始。シロダモ等不要木で杭(護岸用のスギ丸太の固定)を作製し、再利用した土嚢約40個作製しスギ丸太と崩落した土手との隙間の充填に使用。スギ丸太は前回の活動の時に中尾根下からおろした間伐材で、E5地点の橋から上流に向かって3か所補強。11時過ぎに休憩を取り作業再開後に昼食。

●昼食後、小川(沢)にかかるヤマグワを除伐し、小川(沢)への転落防止の安全柵の杭とロープが緩んでいたのて一部使用し補修。その後、打合せし解散。



崩れた護岸用の伐採木



杭材を探す



杭を作製



土嚢作り



護岸作業中



護岸作業完了

●打合せ事項 ○林野庁のアンケート提出への対応

○『上郷開発』のアセスの報告: 高校下は公園に、管理棟は必要では?等の意見有

○保全協議会の報告(山上会長より): 生体調査と池の保存との整合性等について

(3)平成 28年 11月14日(月) 17:00~ 栄区役所推進課 区主催 自然体験教室

・出席者: 山上、上手、伊藤 区役所: 高橋、石田

- 昨年と契約内容等全て一緒で、集合時間や雨天時の対応等の変更はなし。
 - 開催日時: 29年1月28日(土)9:30~14:00(会員集合は9:10、女性陣は区役所集合)。
 - チラシ配布後 締め切り1月20日を予定(同20日に区役所と最終打ち合わせ予定)、1月22日(日)に事前準備に公田竹林での作業予定を報告。
- (4)平成 28 年11月15日(火) 18:00~ 横浜南部公園緑地事務所 瀬上市民の森保全協議会(臨時)
- ・出席者: 山上、中塚 南部公園事務所
 - 議題
 - 1 アメリカザリガニ捕獲調査結果について(みどりアップ推進課)
 - 2 生物調査中間報告について(公園緑地整備課)
 - 3 ドブ貝の生態について(瀬上さとやまもりの会、政策課)
 - 4 その他
 - 会議内容は当会のホームページに

◆ リポートーク 異常気象

枝村 孝夫

先週の24,25日は関東地方では54年ぶり、あるいは明治時代に観測し始めて初めて11月中の初積雪を記録した。また台風1号の発生は7月と遅く、発生すれば立て続けに数個連続するし11月末で25個(平年程度)発生し、初めて北海道にも上陸した。さらにM7クラスの地震が熊本、鳥取、福島であり、この程度の大きな地震が続くのは初めてであった。このように気象に関する異状は今年には特に多かったと思う。

ところで、気象庁は異常気象とは原則として「ある場所(地域)・ある時期(週、月、季節)において30年に1回以下で発生する現象」としています。程度の違いはあるものの、おおむね異常気象とみなされる現象:

寒春 暖春 冷夏 猛暑(酷暑、暑夏)
寒秋 暖秋 寒冬 暖冬 熱波(高温)



撮影者:渡邊氏

※季節を問わない。 寒波(低温) ※季節を問わない。 少雨(旱魃) 大雨(洪水)
少雪 豪雪(大雪) 日照不足(寡照) 日照過多 長期的な弱風 長期的な
強風(風害) 乾燥 多湿 熱帯低気圧(台風、サイクロン、ハリケーン) 嵐(暴風
雨、冬の嵐、春の嵐 など) 雷 雹(ひょう) 集中豪雨 突風(強風、ダウンバースト、塵旋風、竜巻) 砂嵐(降塵) 吹雪(地吹雪) 霧(濃霧)

である。該当するには厳しい条件があり、例えば冷夏に対しては「地域平均気温の平年差(1981-2010年の平年値による)が ・北日本 -0.6℃以下 ・東日本 -0.5℃以下 ・西日本 -0.2℃以下 ・南西諸島 -0.3℃以下」がある。他の現象に対しても同様である。「異常気象」は、英語の“extreme weather”, “unusual weather”, “abnormal weather”, “anomalous weather” とほぼ同義であり、極端な気象、稀にしか起こらない気象という概念だとされて

いる。しかし近年、メディアを中心に、異常気象が増加しているとの考え方が浸透し、同時に異常気象という言葉の概念や定義が変わりつつあり、傾向として、異常気象の概念は”severe weather”, ”bad weather”(激しい気象、荒天、悪天候)の概念に近づきつつあり、範囲が広がってきていると言われている。このため、数年の間隔でも、使用されるし、去年よりも著しく暑い、寒い、多い、少ないと当事者が感じれば異常気象は使われている。それだけ個々の気象現象の変化幅が大きくなってきているのであろう。その結果地球規模の崩壊に繋がらなければいいのですが。ちょっと心配です。

◆ 編集後記

残り1ヶ月余りとなりました。つつがなく過ぎてほしいものです。台風が来る可能性は低いものの、大雪や地震は油断できません。特に地震は一瞬の出来事ですので気は抜けません。安心・安全で年末年始を迎えたいと思います。当会及び当会員にとって良い年となることを記念しています。(枝村)

新年会のお知らせ

**11月26日に幹事浅見氏よりeメールで案内がありましたが、eメールを持っていない会員のために下記に念のため記しています

記

- 1、 日時 2017年 1月 22日 (日) 13:00~15:00
- 2、 場所 地酒と京風おでん 「三間堂」 大船店
鎌倉市大船1-11-23 ウエキビル2F ☎ 050-5798-3078
(2時間、飲み放題付です。)
- 3、 会費 男性 3,000円 女性 2,000円
- 4、 出欠のご連絡

本年 12月 31日 (土) までに、浅見までお知らせください。

TEL/FAX 045-894-5468 携帯 090-6004-8187

EMAIL s-asami@jcom.zaq.ne.jp